

# 専用機器で福祉用具

## メンテの質・効率アップ

アタム技研（愛知県扶桑町、丹羽平社長、☎05897・92・1161）は、独自開発のガス燃焼技術を活かし、高い洗浄・乾燥能力をもつ福祉用具メンテナンス機器を開発・製造・販売する。福祉用具事業者などでは、質の高い福祉用具を迅速に提供しようとして、同社の機器を活用している。洗浄工程を機械に任せると、貴重な人手の有効活用にもつながっている。実際に機器を活用する事業者・介護施設に取り組みを聞いた。

## 関東最大の保守拠点を一気に機械化

トーカイ 新埼玉メンテナンスセンター



洗浄機と乾燥機5台が整然と並ぶ

トーカイ（岐阜市、浅井利



マットレスの洗浄・乾燥なども強化された

明社長）は10月に、さいたま市の「さいたまメンテナンスセンター」を埼玉県西部の毛呂山町へ移し、拡張オープン

する。

新・埼玉センターは、病院・施設の寝具などを扱うリネンサプライ工場も併せ持ち、倉庫と洗浄スペースからなる福祉用具センターだけでも約5600㎡を有する。

ここでは、アタム技研のメンテナンス機器をのべ14台導入。車いす・歩行器などを載せたカゴ台車ごと出し入れできる「多目的洗浄機」や「カゴ台車用高速乾燥機」を導入し、洗浄品質の向上と作業効率アップを図る。

さらに「2段式エアマットレス洗浄機」と「2枚型マットレス洗浄・脱水機」も導入。「洗浄はもちろん脱水能力が高いので、ウレタンなど水切りに時間のかかるマットレスも、乾燥が早く・しっかりとできる。衛生管理のプロとしてお客様に安心と安全な商品を提供を、より早くお届けできるように」と田淵氏は期待する。

新・埼玉センターは今後、関東地区の基幹センターとしての役割も担う。

## 洗浄機3台、乾燥機5台で関西エリアカバー

野口 南大阪営業所



商品をカゴ台車のまま出し入れでき、効率が大きく向上

原市に南大阪営業所を開設した。

同社は関西エリアで、すでに3カ所の営業所・センターを設けているが、「商品取扱量が増える中で、さらなる倉庫スペースの確保と、洗浄・消毒・メンテナンス能力の拡充が必要となっていた」（植原達也所長代理）。

そこで同社は新営業所を7月にオープン、地下1階から地上3階まで余裕のある保管スペースを確保した。そして1階の洗

浄・メンテ担当ゾーンには、アタム技研の洗浄機器を導入。ベッドフレームや手すり、車いすなどを積載したカゴ台車を、そのまま出し入れできる「多目的洗浄機」3台と「カゴ台車用・高速乾燥機」5台が並び、用具の洗浄工程を一手に引き受ける。

「操作はボタン一つなので、洗浄工程に特別な専門性も要らず、当然洗いがりのバラつきもない」と植原さんは評価する。

同社では先に埼玉営業所で同型の機器を活用中。「最近

なく、貴重なスタッフを有効に活用するため、機械に任せられるところは任せる方針。機器の洗浄能力・乾燥能力ともに問題なく、スタッフは洗浄した用具の補修・仕上げに時間を注げるようになり、メンテナンスの質向上につながっている」と植原さん。

「当社では、配送は福祉用具の知識に長けた自社スタッフが担当の強み。新営業所で関西エリアの他3拠点もカバーしつつ、商品供給のスピードアップと、さらに質の高い福祉用具の提供に力を入れていく」と話してくれた。

## 介護職を車いす清拭から解放

特養「笑風苑」  
(福島県郡山市)

福島県郡山市の「笑風苑」



感染対策にもなり、家族からも好評

（社会福祉法人笑風会、渡部明義理事長）は、全室個室・入所定員60人の特別養護老人ホーム。

介護職員は、利用者に直接向き合うだけでなく、様々な間接業務にも追われている。その中に、多くの利用者

者が毎日使う車いすの清拭があった。「シートやキャスター、タイヤのスポークなど、車いすはパーツや隙間が多く、手作

業で汚れを落とすのは、大変骨の折れる作業」と本部事務副主任の大橋浩志さん。

「特に、シートなどに食べこぼしがこびりつくと、拭くだけでは取り切れず、職員の大きな負担になっていた」と振り返る。

事情を聞いた同法人の渡部理事長は、アタム技研の「リフレッシュャーライトII」を見つけて導入を決めた。

同製品は介護施設向けの車いす自動洗浄乾燥機で、洗浄から乾燥まで50分で行える。

笑風苑では今年4月から業務の合間に介護職員が使用している。

「熱処理による殺菌効果もあり、感染対策の取り組みとして、ご家族に安心いただけるのも大きい」と大橋さん。「当施設では自立支援の観点から、ご自身で食事がとれるご利用者には原則見守りでサポートする。その際どうしても食べこぼしがあるが、ご本人も職員も車いすの汚れを気にせず、ゆっくり食事を楽しんでいただけるといい」と話す。